

# 臨時農業生産情報

(風雪及び大雪に対する技術対策)

令和7年2月4日

青森県「農林水産力」強化本部

青森地方気象台発表(2025年2月4日5時23分)「高波と風雪及び大雪に関する青森県気象情報 第4号」によると、日本付近は強い冬型の気圧配置となり、この冬一番の寒気が流れ込む見込みで、青森県では、5日夕方にかけて雪を伴った西よりの風が非常に強く吹き、大雪となる所がある見込みです。

今後の気象情報に十分注意し、次の点に留意して、被害の未然防止と軽減に努めてください。

## 1 共通事項

施設の確認・除雪作業は、作業者の安全確保を最優先することとし、降雪が治まり、施設等の安全を確保してから行う。

## 2 りんご等果樹

- (1) 雪が新しく軽いうちに、樹上の雪下ろしを行う。
- (2) 雪に埋もれた枝を掘り上げるか、枝先を抜き上げ、その下の雪を踏み固める。  
なお、雪に埋まった枝の掘り上げが困難な場合は、下枝周辺に溝切りやスコップで雪に切れ込みを入れ、沈降圧の軽減に努める。
- (3) 剪定で除去する見込みの枝が雪中に埋もれている場合は、早めに切り取り、塗布剤を塗るなどして切り口を保護する。
- (4) 晴天の日が数日続く日を選んで融雪促進剤を散布する。
- (5) 野ネズミによる被害を防ぐため、幹の周りの雪を踏み固める。食害被害が見られた場合は、程度に応じてバッチレートを塗布する。

## 3 野菜・花き等のハウス

- (1) ハウスが倒壊する危険性があるため、安全が確認できるまでは、ハウス内での作業は絶対に行わない。
- (2) ハウス内を暖房して融雪を促し、落雪を容易にする。ハウスに積もった雪は早めに下ろし、ハウス周辺の除排雪を速やかに行う。
- (3) ハウスが倒壊または破損した場合は、速やかにパイプの修復・補強やビニール等の張り替えを行い、保温に努める。
- (4) 被覆していないハウスでは、屋根面のパイプに付着した雪を撤去する。
- (5) 農業共済に加入しているハウスについては、損害評価を受けるなど農業共済組合と連携を密にして早期の復旧に努める。

## 4 畜産

- (1) 積雪による畜舎等の倒壊を防ぐため、屋根の雪下ろしを行う。
- (2) フィルム製の屋根材を使用している堆肥舎等については、施設側面の除排雪を行う。

報道機関用提供資料	
担当課 担当者	(りんご等果樹) りんご果樹課生産振興グループ GM 小笠原 宜弘 (野菜・花き)【発行元】 農産園芸課野菜・花き振興グループ GM 木村 一哉 (畜産) 畜産課経営支援グループ GM 三村 葉子
電話番号	(りんご等果樹) 直通 017-734-9492 内線 5146 (野菜・花き) 直通 017-734-9481 内線 5076 (畜産) 直通 017-734-9496 内線 4814
報道監	農林水産部 次長 及川 正顕 (内線：4966) 次長 栗林 豊 (内線：4967)

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンやスマートフォンにメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「農ナビ青森」からお申し込み下さい。

農ナビ青森のHPアドレス

(<https://www.nounavi-aomori.jp/>)

「トップページ」→「農業情報ページ」→「農業情報」  
に掲載



農ナビ青森 QRコード

### ～りんご園地への融雪促進剤の空中散布費用を支援します！～

県では、豪雪によるりんご樹の枝折れ等の被害拡大を防止するため、生産者が緊急的に無人ヘリ事業者に委託して融雪促進剤を空中散布する際の経費を支援します。

申込期間は、令和7年2月4日(火)～2月28日(金)です。

申込方法等の詳細は、上記QRコードの「農ナビ青森」の農業情報ページをご確認ください。